

|          |     |       |                              |     |      |
|----------|-----|-------|------------------------------|-----|------|
| 基幹科目〈観光〉 | クラス | 科目コード | 配当年次                         | 期 間 | 人数制限 |
| エアライン実務論 |     | 13447 | I                            | 春   |      |
| 担当者名     | 区分  | 単位    | 科目と関係のある実務経験                 |     |      |
| 斎藤 晃子    | 選択  | 1     | ①20年間国際線客室乗務員②10年間専門学校での就活指導 |     |      |

## 授業の到達目標

エアライン就活を目指す学生にエアライン実務・ならびに現在のエアライン就活の状況を少し伝えた上で、現在の自分に足りないところに気づく機会とする。3年次から始まる就職活動に前向きに向かえることが目的である。基礎的マナー教育から始め、形ではなく「なぜそうするのか」を理解したうえで心の部分からマナーを考えられるようになること。またグループワークなども取り入れながら自己分析を深め、それをどう表現するのかというところまで進めていきたい。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）、A（自律）とIn（国際性）を養う。

## 授業の概要

クラスでは一人ずつ自己紹介をプレゼンテーションしてもらおう所から始める。その後、エアライン実務を伝え、仕事への向き合い方や「やりがい」についてを各自考える機会を作る。そして、学生自身が目指すべき姿を明確にする。その上で第一印象アップの方法（身だしなみ、メイクなども含めて）、笑顔の作り方、ボイストレーニング、面接時の入室方法・退室方法のロールプレイング、グループワークでの自己分析など講義と実践両方行う。講座の最後の方で再度1人ずつプレゼンテーションの機会を設け、講座初日の自分の姿とのbefore・afterを比べる。2つを比較して自身の成長と自己課題を最終の論文にまとめることで講座を終了とする。

## 授業計画

- オリエンテーション(0.5コマ) 今後の講座の進め方について説明 講師自己紹介 学生自己紹介作成
- 第一印象の重要性① 自己紹介発表(ビデオ撮影) ペアワークで互いの印象をフィードバック エアライン業界の仕事研究ビデオで客観的に自分の姿を見ることにより、自身の現在の印象を知る。
- エアライン就活の現実を知る 各社の募集要項を再確認 採用試験の中身、合格者データ、傾向を知り自分の目標を明確にする。
- 第一印象の重要性② エアライン就活の身だしなみ研究 立ち居振る舞い練習 笑顔練習 美しいお辞儀実践 声出し練習(ボイストレーニング)

- 面接時入室・退室のマナー 入室・退室ロールプレイングとフィードバック
- 自己分析① グループワークを通して各自 自身の「金の糸(人生の中で大切にしたい考え方)」を探る
- 自己分析② 前回授業で発見した「金の糸」をもとに自己紹介を再度作成する。授業後半では模擬面接形式で入室～自己紹介～退室までの流れを実践する(ビデオ撮影)
- 総まとめ 授業前半で7回目に撮影したビデオを見る。後半ではこのプログラムを受ける前と受けた後の自分を比較しレポートを作成する。

## 授業の方法

この授業では講義とロールプレイング・実践を行う。またグループワークも取り入れる。

## 準備学修

WEBを参照すること。

## 課題・評価方法、その他

授業への参加姿勢が大きな評価ポイント。ロールプレイングやグループワーク、模擬面接では講師からフィードバックを行う。講座8回目に、講義前と講義を受けた後の自身の変化についてレポートを提出することを課題とする。平常点70%、レポート30%

## 欠席について

すべて出席しての講座修了なので、出席率が評価の大きな要素となる。

## テキスト

プリント使用

|           |     |       |              |     |      |
|-----------|-----|-------|--------------|-----|------|
| 基幹科目〈観光〉  | クラス | 科目コード | 配当年次         | 期 間 | 人数制限 |
| ツーリズム実務特論 |     | 13450 | II           | 秋   |      |
| 担当者名      | 区分  | 単位    | 科目と関係のある実務経験 |     |      |
| 酒井 新一郎    | 選択  | 1     | 旅行会社勤務       |     |      |

## 授業の到達目標

観光業界は大きな転換期を迎えており、新しいビジネスモデルが日々創出されている。現在、観光業はコロナウイルスの影響を受け、新たな事業収益を創造している。また2025年には大阪万博やIR事業の開設などを控えて、観光産業は大きなビジネスチャンスが到来している。各分野の第一線で活躍しているビジネスパーソンの講師から事業現場の話聞き、課題を発見し、解決策を見出すことを目標とする。このクラスはKAISEIパーソナリティのI（知性）とIn（国際）を養う。

## 授業の概要

本講義は、観光分野のプロフェッショナルの外部講師による講演を中心に、各分野で活躍する講師には旅行、ホテル、航空会社、観光局（DMO）などから招き、現場の最前線での仕事内容や課題などについて学ぶ。各講義前には登壇する講師の業界について調査し、講義後「気づきや学び」をレポートとして提出する。

## 授業計画

- オリエンテーション
- 講義①
- 講義②
- 講義③
- 講義④
- 講義⑤
- 講義⑥
- まとめと試験

## 授業の方法

外部講師による講義を中心とする。

## 準備学修

Webで参照すること。

## 課題・評価方法、その他

課題はレポートの提出を求める。

評価は平常点70%・定期試験30%

## 欠席について

学則の通り。

## テキスト

随時プリントを配布する。

## 参考図書

必要に応じて指示する。

## 留意事項

外部講師による講義の為、講義中の態度・服装には留意すること。

## 教員連絡先

sakai@kaisei.ac.jp

## オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。